

緑のミニツアー「噴火予知はできるのか？」

7月23日（火）神奈川県温泉地学研究所で緑のミニツアー「噴火予知はできるのか？」を実施しました。

講師は本校の卒業生で神奈川県温泉地学研究所職員の萬年一剛さんで火山学の専門家です。

生徒は15名参加しました。その中で地学基礎を学んでいる生徒は少なく、地球の構造や火山・地震など基礎的な内容を学びました。大変難しく、質問されてもすぐに答えが出ないときは、ヒントと応援をいただきながら、講義が進められました。

テーマである「噴火予知はできるのか？」という問いについては、現在も研究が進められています。仮に分かったとしても「どう伝えるのか？」など社会学や心理学も連動してくる難しい課題が残るとのお話でした。

また、SSHの本校に対して「研究者とは？」「研究者になるには？」など、貴重なお話もいただきました。施設案内をしていただき、萬年さんが作ったジオラマとプロジェクションマッピングを組み合わせた模型の説明を受けました。

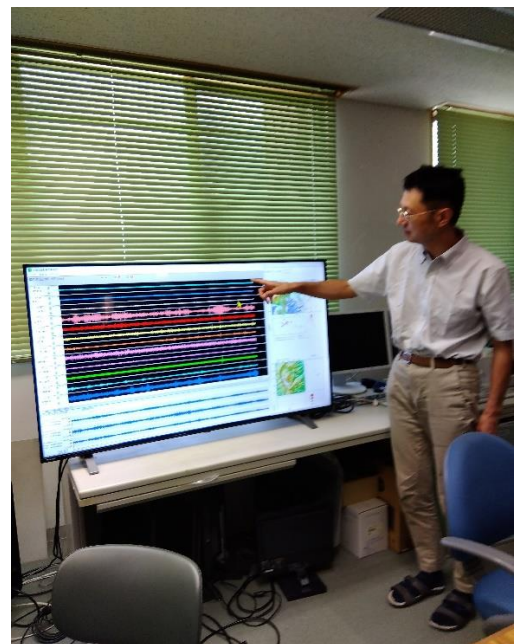
生徒たちは、「難しかった、だけどヒントをもらえたし楽しく勉強できた。」との感想でした。



地層の剥ぎ取りの前で全員集合



ジオラマにプロジェクションマッピングした模型



各地地震計のリアルタイムデータ
見学中に地震がきてびっくり